



本 2  
1213



詞通路下卷

詞て尔乎波のうらふ事

さして相よめてあはれはよほそふしひりてあはれあはれとあはれ  
秋よあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
しるしあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
さあけ多し又人もあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
まこけてあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ  
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ



けきりしに改め留めいかにそむきしむるもす

けりしに留しぬるものもむきしむるもいかに  
そむきしむるもす

けりし下より上へかへりしにむきしむるもす

けりしにのちてむきしむるもす

けりしをぬはるにむきしむるもす

かくこのことなるも枕詞なり

けりしにむきしむるもす  
けりしにむきしむるもす  
けりしにむきしむるもす  
けりしにむきしむるもす  
初学のよみしむるもす  
そむきしむるもす

いそのみ あまき かたの むき しむ る も す い か に そ む き し む る も す い か に そ む き し む る も す

けりし下よりのむきしむるもす  
けりし下よりのむきしむるもす

あまきかたのむきしむるもす

いそのみ あまき かたの むき しむ る も す

けりしにむきしむるもす

けりしにむきしむるもす  
けりしにむきしむるもす  
けりしにむきしむるもす  
けりしにむきしむるもす

もいへわたりて人々をいふまじきものをいふことよ

おもしろく候ふ候ふ

うさぎもさるるへはしるさるるへはしるさるるへはしる

うさぎもさるるへはしるさるるへはしるさるるへはしる  
さるるへはしるさるるへはしるさるるへはしる  
さるるへはしるさるるへはしるさるるへはしる

たもゆくとわかぬかたをいふまじきものをいふことよ

なほいふまじきものをいふまじきものをいふまじきものを

なほいふまじきものをいふまじきものをいふまじきものを

いふまじきものをいふまじきものをいふまじきものを  
いふまじきものをいふまじきものをいふまじきものを

いふまじきものをいふまじきものをいふまじきものを

いふまじきものをいふまじきものをいふまじきものを

いふまじきものをいふまじきものをいふまじきものを

鈴屋のおくすのいさ紫にうそめふうに中をゆひけりう那

~~~~~しりく昔とそしより巻のらとむたえ

とれる昔よかりてのまかり

久うれひうけとんまのゆふまうふたへんぬのちんま  
けらんきよへとてこくまをいれてる格るり

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, enclosed in a rectangular box.







梅のこけしり袖あはれはなほそとをきかぬしめはなほなほ

初白梅むのうらなほふさく初白梅をてふさなれく初白しり  
この白くをてふさく初白のうらなほを初白梅のこけしり

うめこれあはれききももきこてあなうらなほみれくこの初白はこ

この白き初めくよとこけしり初白のこけしり初白

岩袖かかあはれはなほそとをきかぬしめはなほなほ

のこけしり初めくよとこけしり初白のこけしり初白

初白のこけしり初めくよとこけしり初白のこけしり初白

この白く初めくよとこけしり初白のこけしり初白

初白のこけしり初めくよとこけしり初白のこけしり初白

この白く初めくよとこけしり初白のこけしり初白

初白のこけしり初めくよとこけしり初白のこけしり初白

秋は初めくよとこけしり初白のこけしり初白

る物もつゝもむの奥の海もさかぬのりあういもな  
これ白くひけるう 陸白貝よういとう移

かなーさ秋のふつせのきさうく行かる里に移る物なく  
はつせよなういとういとう

うさきよき今にありーのい風もさかなりうーあなま  
これ白くひけるう

契あしそけふにちのゆあうーあなまもさかなりうーあなま  
はつせよなういとういとう

ここのまにういとういとう  
これ白くひけるう  
はつせよなういとう

昔日せのま葉つらやまうーこのまにういとういとう  
はつせよなういとう

はるるり糸よりさうけとまじりておぼしむるはなはなはなはなはなはな

は録の下よの。~~~~~まきとてまきとて~~~~~まきとてのまきとて

まきとてこれにめ~~~~~まきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとて

あ~~~~~まきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとて

まきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとて

まきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとて

まきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとて

まきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとて

まきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとて

まきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとて

まきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとてまきとて

あしきことばをいふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、

いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、

松と後

いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、

いふは、いふは、いふは、

大系や、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、

いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、

いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、  
いふは、いふは、いふは、

郭ろい急中らふとさかへるのむつらうんもむつらわね

らふむれそいぬと身りそきせのいけははるんむ

ゆれいせしての木の木のまよふらうゆつらあちちりまの

おるよりなをいとのまなりのいかなのまなり後白  
いひきけなを

幾ねれ流の流をわしてきつてはあはるんむ

いっしれ若れ絶らうゆおちとまむあはるんむ

あしつらあはるんむの目らるんむ

の。のののののまなり

来の夜とともあつや中のおくは

初二の白く来の夜とともあつや中のおくは

あつやとともあつや中のおくは

神代よりけりあつや中のおくは

現ももあつや中のおくは

諸そけあのおくは

ニのあつや中のおくは

今ももあつや中のおくは







乙傷ゆめゆめ **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ**  
 うのトよよ **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ**

吹あそび **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ**

この白のちのちのちのちのちのちのちのちのち

あつ **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ**  
 のちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

近江より **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ**  
 小田の **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ**  
 小田の **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ**  
 小田の **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ**  
 小田の **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ**  
 小田の **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ** **ゆめ**

その時にかゝるに、出づ ゆ し ま ら 夜 な ら し 小

~~~~~ し ま ら し 小

~~~~~ し ま ら し 小

う。 し ま ら し 小

~~~~~ し ま ら し 小

~~~~~ し ま ら し 小

~~~~~ し ま ら し 小

~~~~~ し ま ら し 小

松の持  
~~~~~

~~~~~

田の白根草の伊の

~~~~~

初時苗のト

~~~~~

あひまを

~~~~~

あひまを

~~~~~

ニのちん

Handwritten text in a cursive script, possibly Mongolian or Tibetan, enclosed in a rectangular border. The text is arranged in a single line across the width of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly Mongolian or Tibetan, enclosed in a rectangular border. The text is arranged in a single line across the width of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly Mongolian or Tibetan, enclosed in a rectangular border. The text is arranged in a single line across the width of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly Mongolian or Tibetan, enclosed in a rectangular border. The text is arranged in a single line across the width of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly Mongolian or Tibetan, located below the main line of text.

Handwritten text in a cursive script, possibly Mongolian or Tibetan, enclosed in a rectangular border. The text is arranged in a single line across the width of the page.

みり人の烟がうらむ  
きくはるのうらむ  
碓氷のトよこ

うらむまていふあはれなむむ  
はなまははるのうらむ

碓氷のトよこ

たのむはるうらむと  
梅葉の丸はるのうらむ

碓氷のトよこ

あてはるうらむ  
知れぬはるうらむ  
碓氷のトよこ  
二れはるき  
あてはる

今そはるあてはる  
あてはるうらむ

碓氷のトよこ

あてはるうらむ  
あてはるうらむ  
あてはるうらむ

二れはるあてはる

歌名をこぼれしるし  
まかせ物

踏白のトよそ

あれよりと志賀のむすめ  
後

踏白のトよかれ

らしきかよ志の葉まじり  
袖のうくは

踏白のトよそ

まねな新波の秋  
むすめ

踏白のトよそ

袖のゆけ  
まかせ物

踏白のトよそ

しほまじり  
おかし

踏白のトよそ

もう君を<sup>け</sup>み<sup>は</sup>す<sup>は</sup>か<sup>の</sup>八<sup>十</sup>代<sup>は</sup>あ<sup>の</sup>れ<sup>る</sup>名<sup>の</sup>巖<sup>と</sup>成<sup>て</sup>お<sup>け</sup>の<sup>む</sup>し<sup>を</sup>ま<sup>し</sup>て  
八<sup>十</sup>代<sup>は</sup>あ<sup>の</sup>れ<sup>る</sup>名<sup>の</sup>巖<sup>と</sup>成<sup>て</sup>お<sup>け</sup>の<sup>む</sup>し<sup>を</sup>ま<sup>し</sup>て

君<sup>を</sup>み<sup>は</sup>す<sup>は</sup>か<sup>の</sup>八<sup>十</sup>代<sup>は</sup>あ<sup>の</sup>れ<sup>る</sup>名<sup>の</sup>巖<sup>と</sup>成<sup>て</sup>お<sup>け</sup>の<sup>む</sup>し<sup>を</sup>ま<sup>し</sup>て  
あ<sup>の</sup>れ<sup>る</sup>名<sup>の</sup>巖<sup>と</sup>成<sup>て</sup>お<sup>け</sup>の<sup>む</sup>し<sup>を</sup>ま<sup>し</sup>て  
あ<sup>の</sup>れ<sup>る</sup>名<sup>の</sup>巖<sup>と</sup>成<sup>て</sup>お<sup>け</sup>の<sup>む</sup>し<sup>を</sup>ま<sup>し</sup>て

あ<sup>の</sup>れ<sup>る</sup>名<sup>の</sup>巖<sup>と</sup>成<sup>て</sup>お<sup>け</sup>の<sup>む</sup>し<sup>を</sup>ま<sup>し</sup>て  
あ<sup>の</sup>れ<sup>る</sup>名<sup>の</sup>巖<sup>と</sup>成<sup>て</sup>お<sup>け</sup>の<sup>む</sup>し<sup>を</sup>ま<sup>し</sup>て  
あ<sup>の</sup>れ<sup>る</sup>名<sup>の</sup>巖<sup>と</sup>成<sup>て</sup>お<sup>け</sup>の<sup>む</sup>し<sup>を</sup>ま<sup>し</sup>て

あ<sup>の</sup>れ<sup>る</sup>名<sup>の</sup>巖<sup>と</sup>成<sup>て</sup>お<sup>け</sup>の<sup>む</sup>し<sup>を</sup>ま<sup>し</sup>て  
あ<sup>の</sup>れ<sup>る</sup>名<sup>の</sup>巖<sup>と</sup>成<sup>て</sup>お<sup>け</sup>の<sup>む</sup>し<sup>を</sup>ま<sup>し</sup>て  
あ<sup>の</sup>れ<sup>る</sup>名<sup>の</sup>巖<sup>と</sup>成<sup>て</sup>お<sup>け</sup>の<sup>む</sup>し<sup>を</sup>ま<sup>し</sup>て



けろよりの人かたさあゆまゆりあしと行くまをひのぼよよして  
三つ子あしけくほりあす。人きよい。まのあけあされもよ。あてきえあ。  
きりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
ゆききりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
秋よりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
こころきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
われと終りきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
くきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
たきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
うきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり

くきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
きりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
あきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり

うらやまのゆゑの程しちちいりまの梅にかなまをたすうらやまの  
おつかりいりまの人なまあな海なうたのいりまか  
けいあまいりまの人なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか

いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか  
いりまいりまの事なまあな海なうたのいりまか

ましつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
あまはなましつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし

ましつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし  
いしつていかにかのるるうりも新こまそをいし

〇二六

〇二六

さして致も致さくしつゝさ身一なれとさつゝそのさよて  
陸ふはゆよむししきしきまらうしめれかとまくよまされる相  
のひもなれ口をひし難しかく作の行よつゝあし  
海制とさひ何そよまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
もつゝさきも事とまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
あれしとわとのなまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
事とまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
あれしとわとのなまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
なれしとわとのなまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
こまきかき事らさひきさしつゝなまきとを

さして志のわくよつゝさ身一なれとさつゝそのさよて  
陸ふはゆよむししきしきまらうしめれかとまくよまされる相  
のひもなれ口をひし難しかく作の行よつゝあし  
海制とさひ何そよまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
もつゝさきも事とまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
あれしとわとのなまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
事とまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
あれしとわとのなまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
なれしとわとのなまきかき事らさひきさしつゝなまきとを  
こまきかき事らさひきさしつゝなまきとを

なやたうしこかまきと初巻のなつうのなまうせて他  
例ふうれいごそへいひまみやひるけ信ふなる年かり春庭  
老ふ人の姿を多くいふ巻終つされどかく他例よりつれそ  
たうしゆやうよとをわつとさう

○右今集以後のそれ等のもとて何統さかともこれ集より  
出する事なれども統さ何まなとよく味ひまき事なれい  
いんしひもくろく一よとおむてそむまき出なり次は  
後撰集拾遺集ちも老ふ本款よとれまきも多りれども是等も  
よく是ををいさかやう後拾遺集の比何のつひまを統さる一つの  
さういして事さうくもやう美集集より統さことさううけてよあ

と之代集よりしてつていつりまこれいそとあまうけな  
てよあつあう終つうくの概あつておのつうなふあをば集  
のころより今く作らとよせとあふなりて今の世のこれ  
さあふい成集よけなより利きて新右今集はけ程誠なふ  
さあふりて終れさよこれれま一何のころひまといと  
うまはうく一それまくはあつなとつひまいとあてたさ  
ういし多うりけりけりうさひまうはうれとやまうま  
うくま事よあれまれさぬうらぬうくもむ人よても縁ねむ  
まもいと新しもさうとあまう初巻の人なまう  
もても及くもさあひまうあまうさうさうのころてまけ



又美葉のいさむらへてしむるは後河の舟にまはせり  
しむるは後河の舟にまはせりしむるは後河の舟にまはせり  
しむるは後河の舟にまはせりしむるは後河の舟にまはせり  
しむるは後河の舟にまはせりしむるは後河の舟にまはせり  
しむるは後河の舟にまはせりしむるは後河の舟にまはせり  
しむるは後河の舟にまはせりしむるは後河の舟にまはせり  
しむるは後河の舟にまはせりしむるは後河の舟にまはせり  
しむるは後河の舟にまはせりしむるは後河の舟にまはせり  
しむるは後河の舟にまはせりしむるは後河の舟にまはせり  
しむるは後河の舟にまはせりしむるは後河の舟にまはせり

さういふはなれしとせしむるは後河の舟にまはせり  
さういふはなれしとせしむるは後河の舟にまはせり  
さういふはなれしとせしむるは後河の舟にまはせり  
さういふはなれしとせしむるは後河の舟にまはせり  
さういふはなれしとせしむるは後河の舟にまはせり  
さういふはなれしとせしむるは後河の舟にまはせり  
さういふはなれしとせしむるは後河の舟にまはせり  
さういふはなれしとせしむるは後河の舟にまはせり  
さういふはなれしとせしむるは後河の舟にまはせり  
さういふはなれしとせしむるは後河の舟にまはせり

用少くしてはたし又たより法式なしてはたし、  
中よもすれはたす事よもいし、  
事よもい多し、  
○後世に歌詠をうむつし、

ふれを物とててよもい、  
ふれこそこのことよもい、  
けさふ歌をうむつけてよもい、  
ふむねとてよもい、  
海山とてよもい、  
海山とてよもい、

きこえんやう

○歌学者としてよもい、  
とけらちのこもい、  
おれてよもい、  
なもい、  
ていもい、  
おんえい、  
不自由なもい、











○永也より〜河の舟り〜〜ちん〜  
 こちから〜物〜〜か〜今〜〜  
 西〜ん〜辨〜志〜〜あ〜ん〜い〜〜  
 けちあ〜〜な〜い〜と〜い〜〜  
 う〜〜相〜成〜を〜記〜録〜成〜ハ〜行〜狀〜相〜な〜し〜書〜面〜文〜義〜示〜す〜申〜は〜  
 る〜い〜〜わ〜ら〜〜〜と〜わ〜ら〜の〜ま〜な〜こと〜書〜面〜文〜義〜を〜示〜す〜  
 て〜は〜〜  
 して〜始〜後〜小〜押〜後〜〜  
 しく〜と〜し〜  
 しく〜と〜し〜

〜  
 日〜月〜  
 一〜  
 一〜  
 一〜

やちまふれさむと辨へまむとぬくはる十音を採りし  
 何くむとふくふてどくとぬくはる小そえうんてアィウエオを  
 阿行カキクケコを加行サシスセワを依行タチツテトを多行ナ  
 ニヌノを奈行ハヒフヘホを波行ミムメモを麻行ヤイユエヨ  
 を也行ラリルレロを羅行ワ平ウエヲを和行ナケオ一の音は  
 アカサタナハニヤラワオニの音をイキシチニヒミイリ平オ三  
 の音をウクスフヌフムエルウオ四の音をエケセテネヘメエレエ  
 オ五の音をオコソトノホモヨコラ右名の事とどくとむねて  
 辟言へく阿行としく阿行の文字加行としく加行の文字なと用  
 のまふようい又オニの音としくイキシチニヒミイリ平オ

四の音としくエケセテネヘメエレエの文字用らむようしつふ  
 くのりよよういそえききちりせけたしく加行のオ五  
 の音を何とそよゴと音く奈行のオ四の音ハ何とそよオと  
 音く麻行のオ三の音ハ何とオオムと音く羅行のオ二の音は  
 何とオヨリと音く又シ文字をいふよとオオハ依行のオ二の音  
 とくくテ文字をいふよとオオハ多行のオ四の音とくくポ  
 文字をいふよとオオハ波行のオ五の音と音くユとくく  
 小とオオハ也行オ三の音とくくていきくもとくくオオハ  
 音くやうかしくくもよて係よ思葉よとやうけりよとて  
 ゆゑぬさなれしよよとくくそえききちりせけたしくオヨリ

ことどもをいひていふことにて後活詞のこともいふに  
 なりその活詞を四股の活詞一肢の活詞中二肢の活詞下二肢の活  
 詞の中程なりけ活詞の事いふにやうな事いひていふに  
 下よりいふことにて中程の活詞をいふにいふに  
 ことどもをいひていふにやうな事いひていふに  
 を四肢の活詞は一肢の活詞をも中二肢の活詞をも下二肢の  
 活詞ともいふに事なりその四肢の活詞を身一の言カサタハ  
 一。二。三。四。のていふに事なり一肢の活詞中二肢の活詞を身二の  
 言キチニ。三。四。のていふに事なり二肢の活詞を  
 身四の言エケセテネヘメエレエよりいふのていふに事なり受ふに

定むるにうけ定まらふ一つとたうな事なり四肢の活詞を加行  
 してか あ。い。ん。う。こ。う。ん。ゆ。う。ん。右のやうに事も身一の言カサタハ  
 一のていふに事をいふに事なり一肢の活詞をいふに  
 てか あ。い。ん。う。こ。う。ん。ゆ。う。ん。右のやうに事も身一の言カサタハ  
 ていふに事なり一肢の活詞をいふに  
 してか あ。い。ん。う。こ。う。ん。ゆ。う。ん。右のやうに事も身一の言カサタハ  
 してか あ。い。ん。う。こ。う。ん。ゆ。う。ん。右のやうに事も身一の言カサタハ  
 してか あ。い。ん。う。こ。う。ん。ゆ。う。ん。右のやうに事も身一の言カサタハ

うられく産波位なをも麻行四段の活句なり羅行よても 志ん  
つん ふうん 志のやく才一の言う ふうんのてまをいをえれ  
知約路なをも羅行四段の活句なり一段の活句も加行よても  
きん 奈行よても よん 波行よても 志ん 麻行よても 又ん 也行よ  
ても いん 和行よても めん 志のこくくして略その行の才二の言  
き 二にこい 丹ふうんのてまをいをえれと若似于見射居など  
一段の活句なり 以活句を才二の言一喜のいかなれといとかな  
中二段の活句も加行よても おきん ときん つきん 志のやく才二  
の言き ふうんのてまをいをえれと記をなをも加行中二段の  
活句なり 多行よても くらん どちらん どちらん 志のこくく才二の言

子 ふうんのてまをいをえれと巧因なをも多行中二段の活句  
なり 波行よても おいん 志ん 志ひん 志のやく才二の言に ふう  
んのてまをいをえれと生急強をも波行中二段の活句なり  
麻行よても あみん ふうみん 志のやく麻行の才二の言に 志  
んのてまをいをえれと活根なをも麻行中二段の活句なり 也行よ  
も おいん 志ん 志のやく才二の言に ふうんのてまをいをえれ  
と老悔なをも 也行中二段の活句なり 羅行よても こりん  
ふりん 志のやく才二の言に ふうんのてまをいをえれと懲奮  
なをも 羅行中二段のこくく言なり 和行よても ひきめん 志の  
やく才二の言に ふうんのてまをいをえれと率をも 和行中二段



の活詞あり下二段の活詞を阿行よても えん右のやく身四の言  
エよりんのでをもとをうくれと得を阿行下二段の活詞を榮か利  
加行よても うけん しまけん つけん右のやく身四の言ケより  
んのでをもとをうくれと受助蹟なとも加行下二段の活詞あり  
佐行よても あくせん うせん やせん右のこしく身四の言せし程  
んのでをもとをうくれと合失度なとも佐行下二段の活詞あり  
多行よても いてん まてん へてん右のこしく身四の言テより  
んのでをもとをうくれと出捨隔なとも多行下二段の活詞を榮あり  
奈行よても かき縁ん しら縁ん 縁ん右のやく身四の言ネより  
んのでをもとをうくれと室居寐なとも奈行下二段の活詞あり

波行よても えん つえん へん右のやく身四の言へよりん  
てをもとをうくれと替仕経なとも波行下二段の活詞あり麻行  
よても さめん まめん せめん右のやく身四の言メよりん  
てをもとをうくれと免進止なとも麻行下二段の活詞あり也行  
よても きえん こえん さえん右のこしく身四の言エよりん  
てをもとをうくれと消滅采なとも也行下二段の活詞あり羅行  
よても かれん なうれん ふれん右のこしく身四の言レよりん  
てをもとをうくれと枯流觸なとも羅行下二段の活詞あり和行  
よても うゑん うゑん けゑん右のやく身四の言子よりんので  
てをもとをうくれと柱鐵居なとも和行下二段の活詞ありさて四段の











